

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

春を告げる花の代表である福寿草が黄色い花を咲かせる。花弁は日光を花の中心に集め、その熱で虫を誘導。しかし毒性も強く害虫

から家庭を守ると、昔から敷地境に植え続けている。その為か花言葉は、永久の幸福、幸福を招く、祝福と地域に愛され続けている花でもある。作家の幸田文さんの隨筆に「入学願書を出すのが梅で、試験が沈丁花で、卒業式が辛夷で、入学式が桜だ」と。春の足音に耳を澄ましたい季節、一人一人が自然を楽しめる地域に住んでいる事を実感できる季節でもある。

ソフトボール競技が球春の季節を迎え、いつもの年と同じように県協会と中信支部・白馬支会の総会や審判

員・記録員に改正ルールの伝達や講習会が行われた。2027年の第82回国民体育大会の長野県開催に向けて人材育成を強く意識した発言を多く感じる。昔から一人前になる目安

は「まず3年」と言われていたが、北海道新聞のコラム卓上四季さんは、大工仕事の修業に必要な期間は「穴掘り3年、鋸5年、墨かけ8年、研ぎ2生、すし職人なら「飯炊き3年、握

地域が求める人材育成は取組む 真剣さと実行力が求められている

は「まず3年」と言われていたが、北海道新聞のコラム卓上四季さんは、大工仕事の修業に必要な期間は「穴掘り3年、鋸5年、墨かけ8年、研ぎ2生、すし職人なら「飯炊き3年、握

る要件は多岐にわたるレベルの高い大会だ。その大会に長野県内から審判主任8名と審判員60名が求められている。また8月には、大町市で、中日本総合



諏訪で開催された県協会の講習会、各地区で講師となる審判員、皆真剣そのものだ
男子選手権が予定され、中信支部からは、審判主任3名と審判員12名が大会審判に予定されている。是非

限られていたのも事実だ。今回の体制は、やる気のある審判員に多くの大会で審判の体験が実現できるはずだ。今年、伊那市で10月に全日本ハイシニア大会が開催され全国各都